


環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会  
 (事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成25年7月29日

## 検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

<b>対象プロジェクト名</b>		
富山県の富山市エコタウン内におけるアイザック(石崎産業)エネルギーセンターによる廃棄物発電を用いた温室効果ガス排出削減事業		
<b>GHG 検証機関</b>		
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。		
機関名	日本海事検定キューエイ株式会社	
担当部署名	審査部 GHG 課	
責任者名	廣瀬 英俊	
責任者 E-mail	<a href="mailto:h-hirose@nkkkqa.co.jp">h-hirose@nkkkqa.co.jp</a>	
責任者電話番号	03-5427-2505	
審査員名 <sup>1</sup>	チームリーダー: 多田 和夫 レビューワー: 紀伊 隆志	
機関要件への合致	検証機関として認定されている。	
<b>検証結果</b>		
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver.2.2	
事業者との契約日	2013年6月27日	
モニタリング報告書受領日 <sup>2</sup>	2013年6月27日	
検証報告書発行日	2013年7月29日	
現地審査	対象期間	2013年7月4日～2013年7月4日
	審査内容	当社は、今回、検証を実施するにあたり、現地審査を実施した。 現地審査では、まず、事業者に2011年12月1日以降設備の変更、プロジェクト担当者の変更、及びプロジェクト計画書(Ver.1.3)の修正が無いことをヒアリングにて確認した。 そして、事業者が作成したモニタリング報告書(Ver.1.2)の記載内容の確認及び排出削減量の検算を実施した。尚、計測データ等の検証に必要な資料は、現地にて入手、e-mail及び郵送で入手し、すべて確認している。

排出削減・吸収量	6, 418t-CO2
検証結果の要約	<p>日本海事検定キューエイ株式会社(以下、当社という。)は、プロジェクト事業者である株式会社アイザック 環境事業本部の「オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に基づく温室効果ガス排出削減プロジェクトモニタリング報告書」(以下、報告書という。)に記載された二酸化炭素削減量情報について検証を行なった(モニタリング期間:2011年12月1日~2013年3月31日)。</p> <p>その結果、報告書に記載された二酸化炭素削減量の情報は、方法論(No.E022 ver 1.0)の適格性基準、オフセット・クレジット(J-VÉR)制度実施規則(Ver.4.1)、モニタリング方法ガイドライン(Ver.4.0)、妥当性確認・検証ガイドライン(Ver.2.2)に準拠しており、誤差の合計値は、重要性の量的基準である5%未満(0%)となったことから、当社は、全ての重要な点について適正であると認める。</p>

<sup>i</sup> 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。

<sup>ii</sup> 検証機関がプロジェクト代表事業者等からモニタリング報告書を受領した日を記載すること(この日を以て当該検証の開始日とみなす)。